

取扱説明書 保証書付

COSMOS

定温式住宅用火災・液化石油ガス用複合型警報器

高圧ガス保安協会検定合格品

複合型式 **XW-700KL**

住宅用火災・液化石油ガス用不完全燃焼警報器 検知部 住宅用火災・液化石油ガス用ガス漏れ警報器（複合型） 警報部	XW-700K
液化石油ガス用ガス漏れ警報器 検知部	XW-700L
XW-700Kのみをおもとめの場合はガス漏れ用検知部XW-700Lは含まれておりません。 ガス漏れ用検知部を設置される場合は販売店にご連絡ください。 複合型警報器としての組み合わせ例は31ページをご覧ください。	

販売店

製造元 **新コスモス電機株式会社**

本社/〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4

TEL 06(6308)3155

東日本支社/〒105-0013 東京都港区浜松町2-6-2 (浜松町262ビル3F)

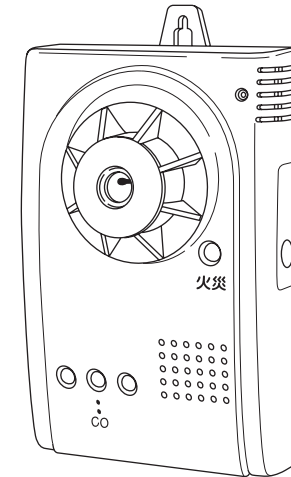
TEL 03(5403)2706

中部支社/〒461-0004 名古屋市東区葵3-15-31 (千種第2ビル5F)

TEL 052(933)1680

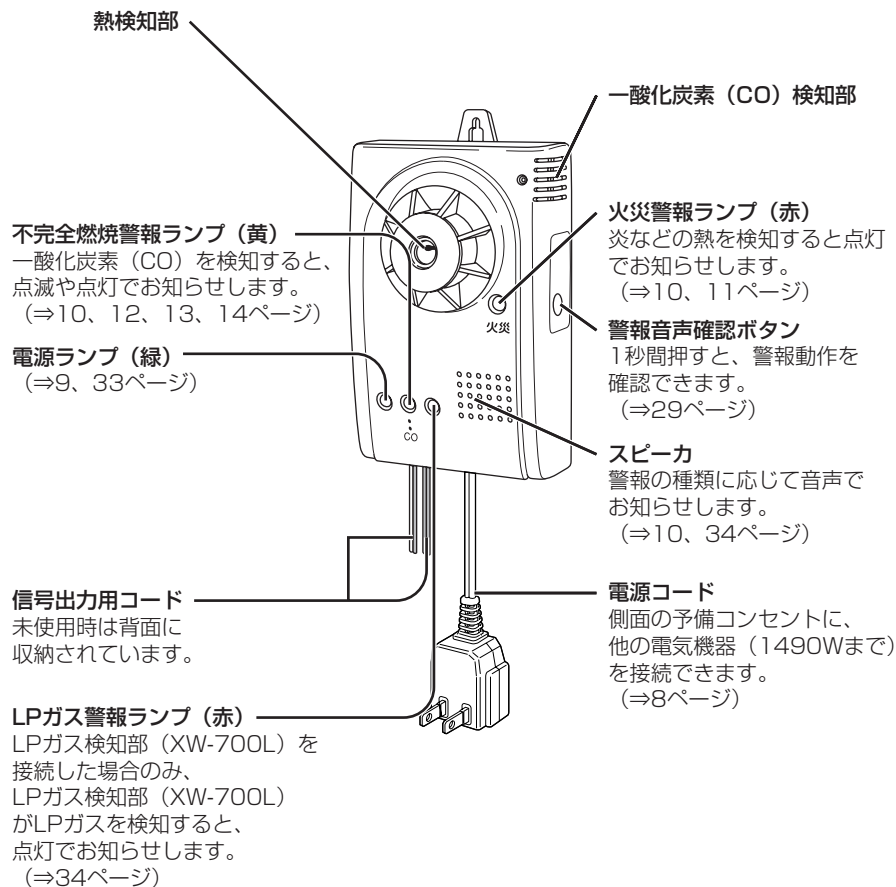
この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

W700KCT 1308H(07)400



- このたびは、「XW-700K」をお買い上げいただき、ありがとうございました。
- お使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みになり、内容をよくご理解ください。
- 本書（取扱説明書および保証書）は、取付け後もお手元に保管し、いつでも使用できるようにしておいてください。
- 本書を紛失された場合は、販売店にお問い合わせください。
- この警報器は熱や一酸化炭素を感知して警報を発するものです。火災や不完全燃焼の発生による損害を未然に防止する装置ではなく、また防止を保障するものではありません。火災や不完全燃焼による損害については、責任は負いかねますのでご了承ください。

機能紹介



もくじ

保証書は最終ページにあります。

初めにお読みください

警報器をご使用になる皆様へ	4
対象ガス	4
安全上のご注意	5

使いかた

予備コンセントの使いかた	8
使用方法	9
主な特長	10
火災警報時の処置	11
不完全燃焼警報ランプが点滅している場合の処置	12
不完全燃焼警報時の処置	13
火災、不完全燃焼以外でもランプが点滅・点灯したり警報が鳴る場合	15

ご参考

警報器のお手入れ方法	16
アフターサービス	17
仕様	18

取付け編

取付けされる方へのお願い	19
取付け位置の確認	20
取付け方法	22
外部装置と連動するには	25
点検ガス採取方法	26
不完全燃焼警報の点検	27
火災警報の点検	28
警報音声確認ボタン	29
お客様への説明内容	30




補足説明

安全上のご注意	32
使用方法	33
主な特長	34
接続方法	35






警報器をご使用になる皆様へ

警報器を安全に正しくお使いいただき、また、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書にはいろいろな絵表示を用いています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った設置や取り扱いによる危害や損害の程度を以下の表示で示しています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

■ お守りいただきたい事項の種類を以下の絵表示で示しています。

	「一般的な禁止」事項を示しています。
	「火気厳禁」事項を示しています。
	「接触禁止」事項を示しています。
	「分解禁止」事項を示しています。
	「必ず行う」事項を示しています。

対象ガス

注意

- 液化石油ガス（LPガス・プロパンガス）の不完全燃焼による一酸化炭素（CO）ガス専用の警報器です。
- 液化石油ガス（LPガス・プロパンガス）以外のガスおよび都市ガス、灯油、練炭等の燃焼機器にはお使いにならないでください。

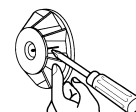
安全上のご注意

警告

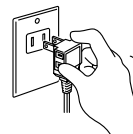
- 警報器は絶対に分解しない
- 警報器を落下させたり衝撃を与えたりしない
故障の原因となります。



- 熱検知部のガードの中にある熱感知センサーには触らない
熱を検知しなくなる恐れがあります。



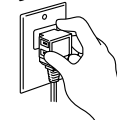
- 警報器の電源プラグは常に通電している専用コンセントに差し、電源プラグを抜かない
通電していないと、火災の発生や不完全燃焼が生じて警報を発しません。



- 電源プラグはガタつきがないよう根元までしっかり差し込む
- 電源プラグにほこりを付着させない
接続が不完全だったり、ほこりが付着した場合は、感電や火災の原因となります。



しっかりと!



- 電源コードにはステップルや釘などを打たない
火災の原因となります。



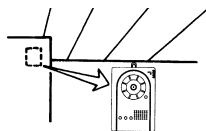
安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

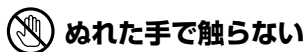
- 警報器は位置を移動させない
- 警報器の前に物を置いたり取付けたりしない



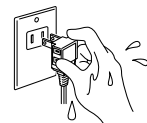
警報の遅れの原因となります。(警報器の位置を変える必要が生じた場合は、販売店にご連絡ください。)



- めれた手で電源プラグおよび予備コンセントに触らない



感電の恐れがあります。



- 日常、電源ランプ(緑)が点灯していることを確認する



電源ランプ(緑)が消灯している場合は、以下の確認を行ってください。

- 電源プラグが確実に差し込まれているか。
 - 停電ではないか。
 - 電源ブレーカーが落ちていないか。
- 上記の原因以外で電源ランプ(緑)が消灯している場合は、警報器の故障が考えられますので、販売店にご相談ください。



有効期限表示ラベル

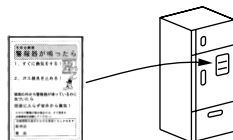
- 警報器の有効期限を過ぎていないかを確認する

警報器本体に貼ってある有効期限の表示ラベルを確認してください。

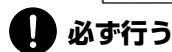
有効期限は、お取付け後5年間です。

期限を過ぎたものは規定の警報ガス濃度で警報を発しないなど誤作動の恐れがあります。

尚、警報器を設置してから、6年が経過すると電源ランプ(緑)が*1ゆっくり点滅します。警報器の有効期限が過ぎていることをお知らせしていますので、販売店に連絡してください。



- 警告表示ステッカーは目につく場所に貼る



⚠ 注意

- この警報器は、お取付けいただいた場所近くでの火災や、不完全燃焼について警報を発してお知らせしますが、他の部屋で火災や、不完全燃焼などが生じた場合は警報を発しない場合があります。

- この商品は消防法で定められた自動火災報知設備には該当しませんので、それらの用途には使用できません。(火災の防止装置ではありません。)

- 浴室、屋外では使用できません。

- 警報器の近くでラジオなどを使用されると、ラジオなどにノイズ(雑音)が増える場合があります。そのようなときは、警報器から離れてご使用ください。

※ 停電時は作動しません。また、初めてお使いの場合や、停電後は電源を通じてから約30秒間(LPガス検知部〈XW-700L〉を接続されている場合は約2分間)は作動しません。

なお、電源ランプ(緑)点灯と同時に不完全燃焼警報ランプ(黄)が点滅し、「ピッポッ」と音を発する場合がありますが、しばらくすると電源ランプ(緑)のみの点灯に変わります。

※ 殺虫剤、化粧品などのスプレーを警報器の近くで使用すると、警報音が鳴る場合がありますが、しばらくすると鳴りやみます。

※ 警報器は多少温かくなりますが、異常ではありません。通電によりセンサー部を加熱して使用するためです。

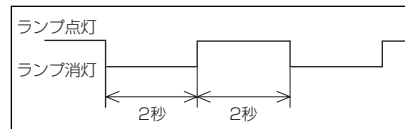
※ 調理や空調の熱により警報音が鳴る場合があります。(⇒15ページ)

電源ランプ(緑)が消灯している場合の原因と処置

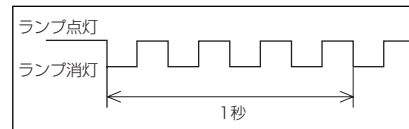
原因	処置
<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードのプラグのはずれ ● 停電 ● 電源ブレーカーが切れている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを差し込む ● ブレーカーを入れる

※ 電源ランプ(緑)が*1高速点滅している時に警報音確認ボタンを1秒間押し、「警報器を点検してください」が2回鳴りますと、警報器の故障が考えられますので、販売店に連絡してください。

※1 ゆっくり点滅の例



※2 高速点滅の例



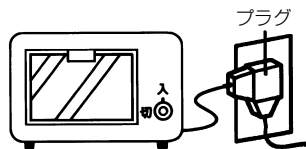
予備コンセントの使いかた

⚠ 注意

- 警報器以外の電気製品を同時にご使用になる場合は、警報器のプラグは抜かず、プラグの側面にある予備コンセント（アドオンプラグ）をご利用ください。

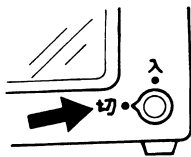
❗ 必ず守る

ただし、接続できる電気製品は1490W以下です。1490Wを越えると火災発生の恐れがあります。



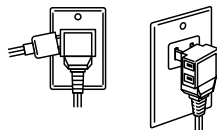
- 警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）を使用するときは、電気製品のスイッチを必ず「切（OFF）」にして接続してください。

❗ 確かめる



- 警報器のプラグおよび他の電気製品のプラグは確実に接続してください。プラグがコンセントに確実に接続されていないと、プラグ部が過熱し、焼損する場合があります。

⊘ 禁止



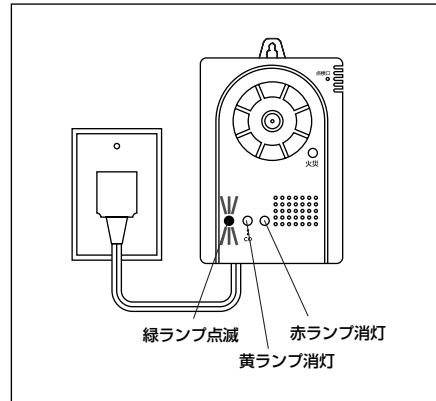
- 電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。（ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。）

❗ 電源プラグは確実に



使用方法

- 1 警報器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。

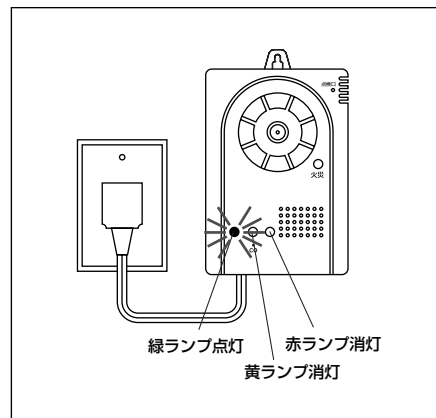


— 警報器の動作 —
警報器の電源ランプ（緑）が点滅します。警報器が作動状態に入る準備タイムです。（火災警報は作動します。）



（電源に接続してから）

- 2 約 30 秒後



— 警報器の動作 —
警報器の電源ランプ（緑）が点灯に変わり監視状態に入ります。（不完全燃焼警報も作動します。）

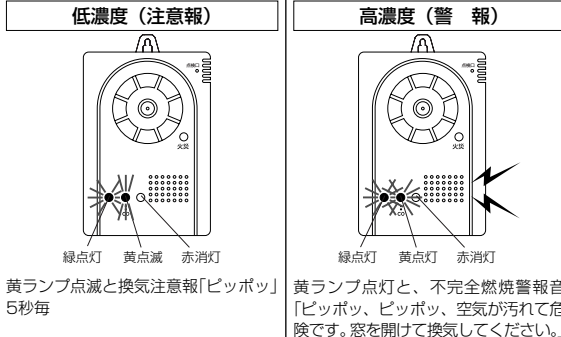
※LPガス検知部（XW-700L）を接続された状態で電源を投入した場合は約2分後に電源ランプ（緑）は点滅から点灯に変わり、監視状態に入ります。（⇒33ページ）

主な特長

■不完全燃焼警報機能

● ガス機器の不完全燃焼が発生した場合

警報器 (XW-700K) 周囲の一酸化炭素 (CO) 濃度があらかじめ設定された濃度に達したとき、右のように2段階に分けて作動します。

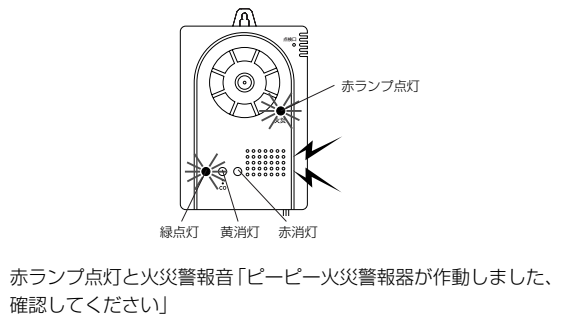


● マイコンメータと接続されている場合は、高濃度 (警報) 時のみ約40秒後外部出力信号を発信します。

■火災警報機能

● 火災による熱が発生した場合

警報器 (XW-700K) 周囲の温度が約65℃以上になると、右のように作動します。



● 住宅情報盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、専用用品 (別売品) をご使用ください。

※ 警報音は火災警報を優先します。火災警報を発している場合は、音声による不完全燃焼警報は発しません。

火災警報時の処置

■火災警報ランプ (赤) が点灯し、火災警報を発している場合の処置

● 次の処置をしてください。

<p>1. 火元の確認をしてください。</p> <p>！ 確認する</p>	<p>2. 必要な消火手段をとってください。</p> <p>！ 連絡する 消火する</p> <p>● 119番への通報 ● 初期消火</p>	<p>3. 避難してください。</p> <p>！ 避難する</p>
<p>！ 閉める</p> <p>天ぷら油から炎が出ている場合は、ガスメータ近くのメータ元栓を閉めてください。</p>		

※外部機器と連動している場合は、P25外部機器連動対応表をご参照ください。

■火災以外の熱で警報器が作動した場合の注意

- 火災以外の熱などで火災警報を発している場合は、不完全燃焼警報ランプ (黄ランプ) の点灯の有無を確認してください。 **！ 確認する**
- 不完全燃焼警報ランプ (黄ランプ) が点灯している場合は、P13、P14の処置を行ってください。 **！ 処置する**

※ 火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声による不完全燃焼警報は発しません。

不完全燃焼警報ランプが点滅している場合の処置

■ 不完全燃焼警報ランプ（黄）が点滅し、「ピッポッ、ピッポッ、」が鳴っている場合の処置

- 一酸化炭素（CO）濃度が低い場合、黄ランプが点滅し、「ピッポッ、ピッポッ」が鳴ります。（低濃度の注意報）

● 次の処置をしてください。

ドアや窓を開けて換気してください。

❗ 開ける



室内の空気がよごれた場合にも、黄のランプが点滅する場合があります。

（「火災、不完全燃焼（CO）以外でもランプが点滅・点灯したり、警報が鳴る場合」をご参照ください。P15）

※ 外部機器と連動している場合
外部機器は作動しません。
（警報音を発していない場合）

不完全燃焼警報時の処置

■ 不完全燃焼警報ランプ（黄）が点灯し不完全燃焼警報を発している場合の処置

■ 部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

⚠ 危険

- 警報音が鳴り始めたらすぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。
- 換気をせずにガス機器を使用しつづけると、一酸化炭素（CO）濃度が上昇し短時間で生命に危険な状態になる恐れがあります。

● 次の処置をしてください。

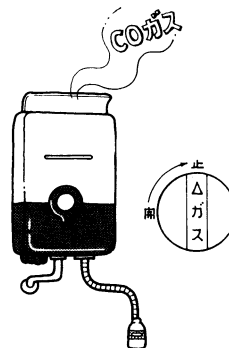
1. ドアや窓をあけて換気してください。

❗ 開ける



2. ガス機器の使用を止めてください。

❗ 止める



3. 警報音が鳴りやまなければ販売店へご連絡ください。

❗ 連絡する



- たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。
- ガス機器以外の燃焼機器が原因で鳴る場合もありますので、これやの機器も点検を受けてください。

不完全燃焼警報時の処置 (つづき)

■ 部屋にいなかった場合で、室内で警報音が鳴っているのに気付いた場合

⚠ 危険

● 一酸化炭素 (CO) 濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアや窓を開ける、メータ元栓を閉めるなどし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、元栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

● 次の処置をしてください。

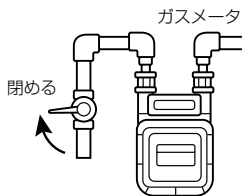
1. 部屋に入らずに、室外からドアや窓をあけられる場合は、あけ放して換気をしてください。

❗ 外から開ける



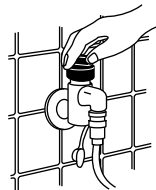
2. ガスメータ近くのメータ元栓を閉めてください。

❗ 閉める



3. 警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

❗ 閉める



※ 外部機器と連動している場合は、P25外部機器連動対応表をご参照ください。

■ 不完全燃焼ガスがなくなった場合

● ガスがなくなると、警報音が鳴りやみ、警報部の黄ランプが消灯します。

火災、不完全燃焼以外でもランプが点滅・点灯したり警報が鳴る場合

- 火災以外の熱で警報器が作動する場合があります。
 - ・ 調理中の熱がこもった場合。
 - ・ エアコン等の空調機器の熱が直接警報器に当たった場合。

お願い

火災以外の熱などにより警報音が鳴ることがありますが、警報器周辺の温度が下がれば鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。

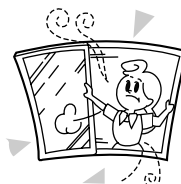
- 不完全燃焼 (CO) 以外で空気がよされた場合にも、黄ランプが点滅・点灯し、警報音が鳴る場合があります。原因としては次のようなことが考えられます。
 - ・ 料理に使うお酒やみりん、ワインなどの蒸気がたまったとき。
 - ・ 湯沸器を使用中、換気が十分でなかったとき。
 - ・ ガスコンロの着火ミスがあったとき。
 - ・ 殺虫剤スプレー、ヘアスプレー、化粧品スプレーなどを使用したとき。
 - ・ 塗装、シンナー、アルコール系消毒液などを使用したとき。
 - ・ 整髪料、除光液などを使用したとき。
 - ・ フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤などを使用したとき。
 - ・ 自動車の排ガスが室内にこもった場合。
 - ・ 炭火や練炭を使用したとき。
 - ・ その他、石油系溶剤が含まれるもの、ガスを使用した噴霧剤が含まれるものを使用したとき。

お願い

このような場合は、ドアや窓を開けて、しばらく換気続けると、ランプの点滅・点灯は消灯し、警報音は鳴りやみますので、警報器の電源プラグは抜かないでください。

ドアや窓を開けて換気してください。

❗ 開ける



火災、不完全燃焼以外でもランプが点滅・点灯したり警報が鳴る場合

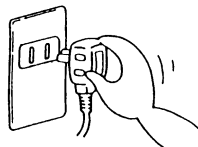
不完全燃焼警報時の処置 (つづき)

警報器のお手入れ方法

⚠ 危険

- 警報器の表面および取付け付近の壁面がよごれたりしてお手入れをされる場合は、電源プラグをコンセントから必ず抜き取ってください。

❗ プラグを抜く



お願い

- お手入れをされる場合は、布に水または石けん水を浸し、よく絞ってからよこれを拭き取ってください。

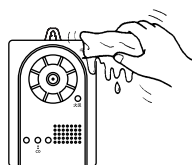
❗ よく絞ってからふく



水または石けん水

- お手入れの時、警報器の内部に水が侵入しないように注意してください。

❗ 禁止



- 警報器のお手入れには中性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナーおよびアルコールは使わないでください。

❗ 禁止

中性洗剤等を使ったときは、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく不完全燃焼警報ランプ(黄)が点滅・点灯したり、警報音が鳴りやまないことがあります。



アフターサービス

お願い

- この警報器は、5年間の無償保証です。ただし、保証書記載の保証の適用除外の項目に該当する場合はこの限りではありません。保証書をご参照ください。
- この警報器の有効期限は、お取付け後5年間です。
有効期限とは、警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過したものは、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取替えください。
- 保証書に取付け年月および販売店名の記入のないものは無効となることがありますので、お取付け時にご確認ください。
- 保証書は大切に保管してください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がございましたら、販売店へご連絡ください。
- 警報器の有効期限を過ぎたときは、販売店へご連絡ください。
- 作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。
- 引越しの場合
 - (1) 引き続き使用する場合は、販売店までご連絡ください。
 - (2) 新たに引越してきた人が継続利用する場合は、販売店までご連絡ください。

項目		住宅用火災・不完全燃焼検知機能 (XW-700K)
火災警報機能	型式番号	住警第26~96号
	検知原理	熱感知サーミスタ式
	公称作動温度	65°C
不完全燃焼警報	外部出力信号	a接点 無電圧 無極性 (接点容量 DC 24 V, 0.5 A)自動復帰式
	検知対象ガス	液化石油ガス (LPガス) 燃焼機器の 不完全燃焼排気ガス
	警報ガス濃度	CO+H ₂ (2:1の混合ガス) 1段目 75 ppmを超えて 375 ppm以下 2段目 1段目警報濃度を超え825 ppm 以下
	検知原理	熱線型半導体式
	警報方式	1段目 黄ランプ点滅 (自動復帰式) 換気注意報「ピッポッ」 (即時または20秒経過後)
		2段目 黄ランプ点灯 (自動復帰式) 警報音 (音声合成音) (即時)
	応答時間	1段目 10分以内 2段目 5分以内
	外部出力信号	a接点 ON 無電圧 有極性 (マイコンメータ専用)
	警報音量	70dB(A)/m以上
	電源	AC 100 V ± 10 % 50/60 Hz
消費電力	監視時 約 0.8 W (検知部接続時 約 1.3 W) 警報時 約 1.2 W (検知部接続時 約 1.6 W)	
使用温度範囲	0°C ~ +40°C (結露なきこと) (ただし不完全燃焼警報に関しては0°C ~ +50°C とする)	
共通仕様	寸法	幅85×高さ125×奥行き45 mm
	質量	約 280 g
	電源コード	長さ 2.5 m 予備コンセント付プラグ
	付属品	石膏ボード用取付フックセット、点検ガス採取器 コード振れ止め (3個) 木ネジ(φ3.1×10mm)×3、木ネジ(φ3.1×16mm)×2 取扱説明書 (保証書付)、警告表示ステッカー

取付けされる方へのお願い

警告

- お客様にこの警報器を安全に正しく使っていただくために、本書をよくお読みになり、指定された工事を行なってください。 **必ず行う**
- 工事終了後に、本書の説明に従って作動点検を行なってください。なお、作動不良の場合は交換してください。また外部装置と接続した場合は、外部装置の取扱説明書、設置工事説明書に基づいて作動点検をしてください。 **必ず行う**
- 工事終了後に本書に従って、警報器の使いかたと、保証期間や有効期限、禁止事項などをお客様に説明してください。 **必ず行う**
(⇒ 30ページ)

設置前のご注意

- 警報器を設置する前に、警報器の種類、型式等が指定を受けたものであることを確認するとともに、設置場所の選定についてはお客様とよく相談して決めてください。

警報器の確認

注意

- 取付ける警報器がLPガス用であり、本体、電源コード等に異常のないことを確認すること。 **必ず行う**
- 警報器には、落下などの強い衝撃を与えないように、取扱いに注意すること。

取付け位置の確認

●取付け位置を決めるときには、次のことをよく確認してください。

⚠ 注意

1 不完全燃焼を検知しようとするガス機器を設置している場所と同一の室内に設置すること。 **❗ 必ず行う**

2 不完全燃焼ガスが滞留しやすい位置で、電源ランプの確認しやすい位置、容易に点検できる場所へ取付けること。 **❗ 必ず行う**

3 不完全燃焼を検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合は、元栓）から水平距離4m以内、天井面から30cm以内とする。 **❗ 必ず行う**

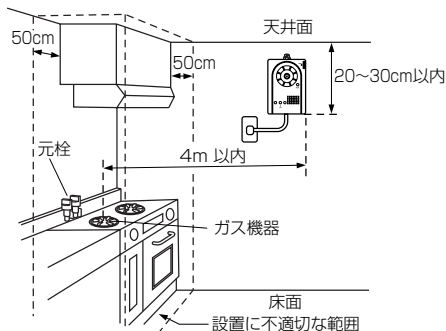
4 天井面に接近して取付けると、天井面が黒ずむ場合があるので、警報器の底面から天井面までの距離が20cm以上～30cm以内になるように取付けること。 **❗ 必ず行う**

5 アルコール等で警報することがあるので、レンジフード内やレンジフード本体には取付けられないこと。 **🚫 禁止**

6 換気口等の空気の吹き出し口から1.5m以内には取付けられないこと。 **🚫 禁止**



取付例

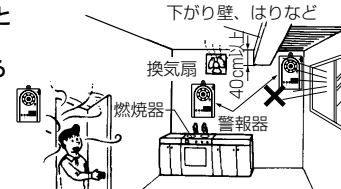


※取付けおよび取付け位置の移動は、販売店におまかせください。

⚠ 注意

次のような取付け方をされていますと、警報の遅れや誤報、故障などの原因になることがあります。

- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しのよいところ、すき間風の入るところ
- 40cm以上の下がり壁で区切られているところ
- エアコン等の吹き出し孔の近く



🚫 禁止 警報が遅れたり検知できないことがあります。

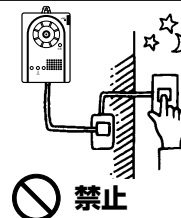
- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙など及び調理用アルコール蒸気が直接かかるところ

🚫 禁止 センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。



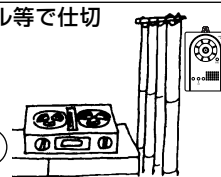
- 使用時しか電源を入れないところ（ビルなどの給湯室で、夜間電源を切るところ）

🚫 禁止 警報器としての機能を果たしません。



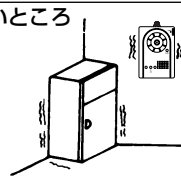
- カーテンウォール等で仕切られるところ

🚫 禁止 警報が遅れます。



- 振動、衝撃の激しいところ

🚫 禁止 センサ故障の原因になります。



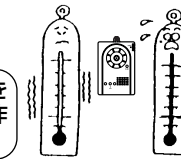
- 浴室内や水のかかる場所や水滴のつくところ

🚫 禁止 感電や電氣的故障の原因になります。



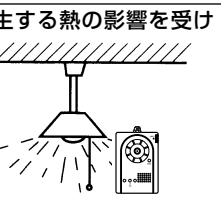
- 温度が0℃～+40℃の範囲をこえるところ

🚫 禁止 警報器としての機能を果たしません。誤動作の原因になります。



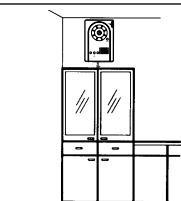
- 照明器具等が発生する熱の影響を受けるところ

🚫 禁止



- 食器棚などの上部

🚫 禁止



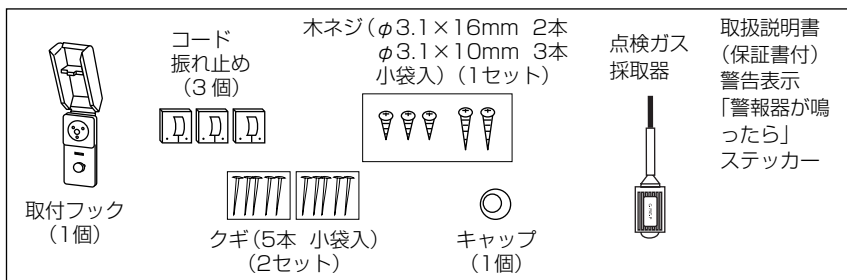
- 屋外 **🚫 禁止** 屋外用ではありません。

取付け方法

1. 付属品の確認

付属品が揃っているか確認してください。

付属品



2. 取付位置の確認

- (1) 取付位置の壁面の材質、強度を確認し、土壁、強度の弱い合板等には取付けないこと。
- (2) 壁がコンクリートの場合は、振動ドリルでドリリングのうえ、カールプラグ (市販品) を打ち込み、木ねじを使用すること。

3. 警報部の取付け

- 警報器の取付時には、警報器を落とさないよう注意すること。

センサの断線等で正常に作動しないおそれがあります。

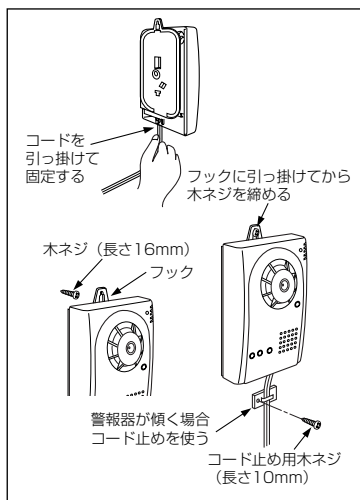
- 火災検知部のガードの中にある熱感知センサに触れないように取付けること。

センサ破壊等で正常に作動しないおそれがあります。

- (1) 木ねじを壁面に途中までねじ込みます。
- (2) 電源コードをコンセントまでの長さに合わせて取り出し、警報器のフックを木ねじに引っ掛けます。

木ねじを締め付け、警報器を固定します。

- ※ 警報器が電源コードに引っ張られて傾くような場合は、付属のコード止めで警報器のすぐ下を止め、一旦コードを真下に引き出してください。
- コード止めが接着だけでは弱い場合は付属の木ねじ (10mm) を使用してください。
- ※ 電源コードの固定に、市販のステップルや釘などを使用しないでください。



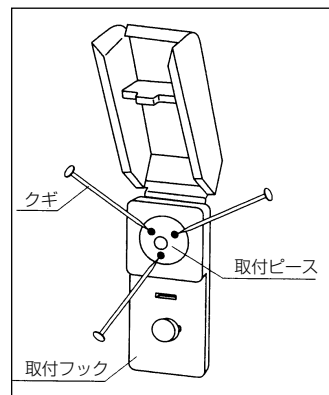
● 石膏ボード用取付フックを使用して警報器を取付ける場合

- ① 図のように取付フックの取付ピースにクギを軽く差し込みます。

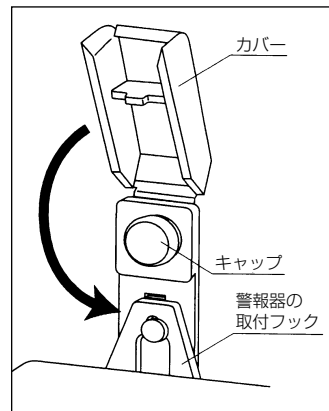
警告

強く差すとクギが突き抜けて指をケガする場合があります。

- ② 壁面に取付フックを押し当て、背面の接着テープで仮止めます。コインなどでクギに直角に当て、クギの向いている方向にまっすぐ押し込むか、かなづちで軽く打ち込んでください。
※ クギは最後まで押し込み、取付フックが固定されていることを確認してください。
- ③ キャップを被せてください。



- ④ 警報器の取付フックに引っ掛けて、カバーを矢印の方向へ閉じてください。
※ 警報器が電源コードに引っ張られて傾くような場合は、付属のコード止めで警報器のすぐ下を止め、一旦コードを真下に引き出してください。コード止めが接着だけでは弱い場合は付属のクギまたは木ねじ (10mm) を使用してください。
※ 電源コードの固定に、市販のステップルや釘などを使用しないでください。



注意

- 取り付けした樹脂フックを手前にこじるなどの力を加えないでください。クギがゆるむ原因になります。
- 一旦打ち込んだクギや取り付けしたキャップを外すにはニッパ等で引き外す必要があります。取付位置の選定を十分ご確認の上、取り付けてください。

取付け方法 (つづき)

⚠ 注意

配線方法

- (1) 電気設備技術基準および内線規程により電源コードは、ステップルや釘等で固定しないでください。
- (2) 電源コードに重いものを置かないでください。

■電気設備技術基準および内線規程により、電源コードはステップルや釘等で固定できません。

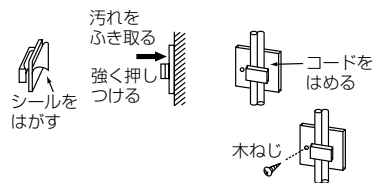
❗ 禁止



お願い

- (3) 電源コードは、付属のコード振れ止めで固定してください。なお、コード振れ止めが接着だけでは付かない場合は、木ねじ (10mm) で止めてください。

●電源コードは付属のコード振れ止めで固定してください。



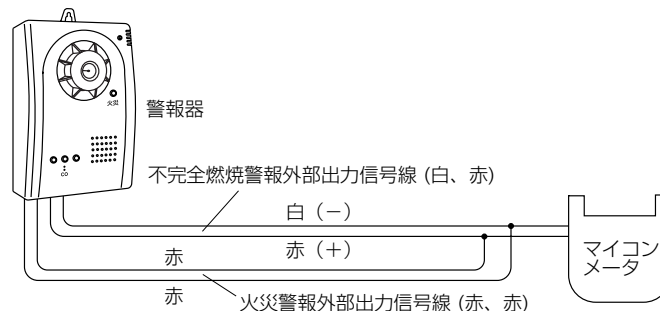
コード振れ止めが接着だけでは付かない場合、木ねじで止めて下さい。

- (4) 外部装置との接続方法

外部装置と接続する場合は、外部装置の取扱説明書ならびに設置工事説明書に従って工事を実施してください。

外部装置と連動するには

- 外部装置と接続する場合は、外部装置の取扱説明書および設置工事説明書に基づいて設置・作動点検を行ってください。
- 不完全燃焼警報外部出力 (リード線・白赤) はマイコンメータ専用線です。接続される場合は、極性にご注意ください。
- 火災警報外部出力 (リード線・赤赤) はa接点無電圧出力ですので、外部装置を接続する場合は注意してください。
負荷に発生するスパイク電圧は接点容量の定格以下でご使用ください。
接点容量：DC24 V, 0.1 A
- マイコンメータとの連動は以下のように行ってください。



■ 外部装置連動対応表

上段 ○：連動可能
下段 警報器が鳴り始めてから各装置が作動するまでの時間 (この遅延時間は連動装置によって異なります)

警報の種類 外部出力信号 連動装置	警報時の動作	火災警報	不完全燃焼警報	備考
		無電圧 a接点 ON 赤・赤線	無電圧 a接点 ON 白・赤線	
移報プザー	警報音が鳴る	○ 即時	—	火災警報用
マイコンメータ	ガスを止める	○ 即時	○ 約40秒	
住宅情報盤	警告表示および警報音が鳴る	○※1 即時※2	—	
集中監視盤	警告表示および警報音が鳴る	○※1 ※2	—	

※1 自動火災報知設備の場合は接続できません。

※2 装置の設定により遅延時間が異なります。

ご注意

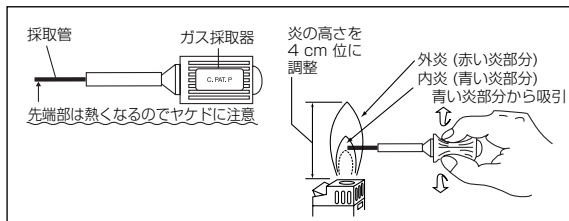
- 遅延時間は一般的な値です。詳しくは各装置の取扱説明書をご参照ください。
- 連動装置は専用部品をお使いください。(集中監視盤を除く)

外部装置と連動するには

点検ガス採取方法

次の方法で点検ガスを採取してください。

- (1) 市販のライター等を点火し、炎の高さを4cm程度に調整してください。
(炎が小さいと、点検ガスを採取しにくくなります。)
- (2) 点検ガス採取器の容器部分を指で十分圧縮して、採取管の先端を炎の内炎部(青い炎部分)に持っていきます。



- (3) 容器の圧縮をゆっくりと緩め、炎の中からガス成分を吸収します。
(長時間加熱するとガス採取器が破損する場合があります。)
- (4) 採取管の先端部分の温度が下がるまで、約30秒待ちます。
(採取管の先端部分は熱くなっていますので、ヤケドに注意してください。)

警告

採取したガスは作動点検以外には使用しないでください。

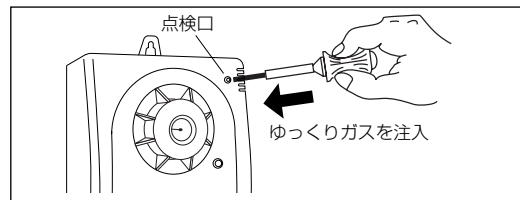
禁止

注意

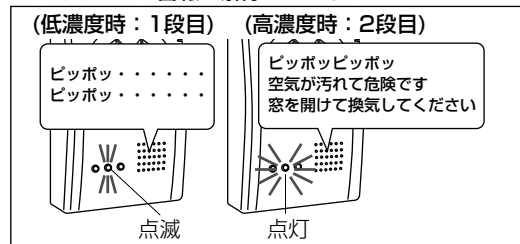
炎から出した直後のガス採取管の先端は非常に熱くなっています。やけどをしないよう、ご注意ください。

不完全燃焼警報の点検

- (1) 点検ガスを採取したガス採取管の先端を警報器の点検口に持っていき、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり(約3秒程度)注入します。

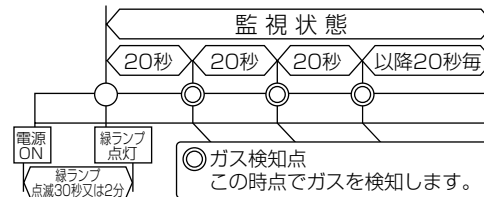


- (2) ガスを注入してから約20~30秒後に、次のように警報することを確認してください。
 - ガスの濃度が低いときは、不完全燃焼警報ランプ(黄)が点滅し、「ピッポッピッポッ・・・ピッポッ・・・」と約5秒間隔で鳴ります。
 - ガスの濃度が高いときは、不完全燃焼警報ランプ(黄)が点灯し、「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と連続で鳴ります。ガスがなくなると、警報は解除されます。



もし1分以上経過しても左記の反応が起らない場合は、再度同じ手順でガスを採取し、注入してください。

■ 一酸化炭素 (CO) 検知タイミング

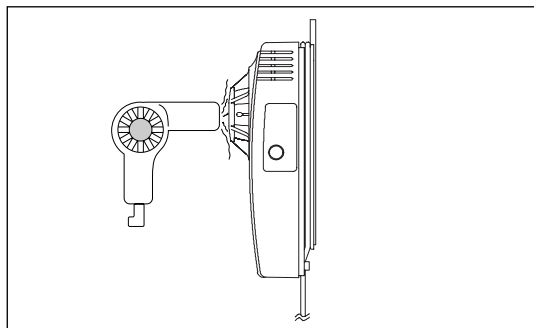


- 一酸化炭素 (CO) ガスの検知は約 20 秒ごとです。ガス注入のタイミングがずれたり、または注入したガスが薄まった場合は、2段階警報に至らないことがあります。
- 連続して長時間一酸化炭素 (CO) ガスを注入すると、警報音がなかなか鳴り止まない場合があります。

不完全燃焼警報の点検

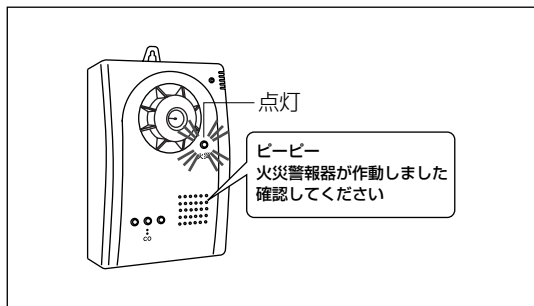
火災警報の点検

- (1)ヘアドライヤーを用意します。(必要に応じて延長コードも用意してください。)
- (2)警報器の熱検知部へ、ドライヤーの熱風を吹きかけます。



(3)次のように警報することを確認してください。

- 火災警報ランプ(赤)が点灯し、「ピーピー 火災警報器が作動しました確認してください」と連続で鳴ります。



(4)ドライヤーのスイッチを切ってください。

熱検知部周囲の温度が下がると、火災警報ランプ(赤)が消灯し、警報音は止まります。

⚠ 注意

ドライヤーの熱風を当てることで、警報器は熱くなっています。やけどをしないよう、ご注意ください。

ライターなどの直火での加熱試験は行わないでください。機器破損の原因となります。



警報音声確認ボタン

警報音声確認ボタンを1秒間押し、以下の警報音声・ランプ表示・外部出力を行います。
※外部出力は電源投入より30秒以内に警報音声確認ボタンを押した場合に限り、出力を行います。

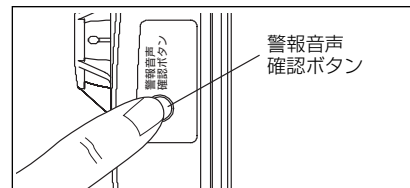
火災警報外部出力は30秒間出力します。

不完全燃焼警報外部出力は10秒間出力します。

尚、外部出力はどちらも警報音声確認ボタンを1秒間押し、電源ランプ(緑)が高速点滅に変わると同時に出力されます。

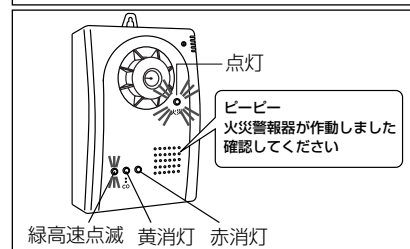
※電源ランプ(緑)の高速点滅時に警報音声確認ボタンを1秒間押しと「警報器を点検してください」が2回鳴ります。

1.警報音声確認ボタンを1秒押します。



2.電源ランプ(緑)の高速点滅、火災警報ランプ(赤)の点灯

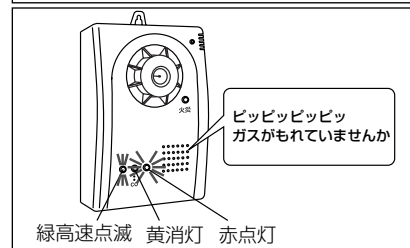
音 声：「ピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください。」



3.電源ランプ(緑)の高速点滅、LPガス警報ランプ(赤)の点灯

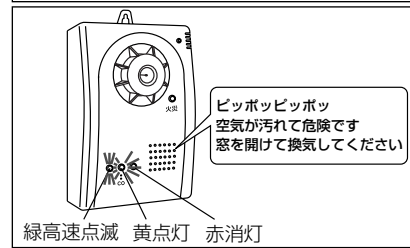
音 声：「ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか。」

※LPガス検知部(XW-700L)が接続されている場合のみ、動作を行います。この間、LPガス検知部(XW-700L)は点滅します。



4.電源ランプ(緑)の高速点滅、不完全燃焼警報ランプ(黄)の点灯

音 声：「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください。」



お客様への説明内容

■ 設置工事および作動点検の終了後、次の事項をお客様に説明してください。

- (A) 作動点検の結果の説明
- (B) 取扱説明書を必ず読み、保証書（最終ページに記載）と共に保管していただくこと
- (C) 警報器のおもな機能と措置
 1. 火災警報の内容と警報時にとるべき措置
 2. 不完全燃焼警報の内容と警報時にとるべき措置
- (D) 予備コンセントの容量上限値について
- (E) 誤報が発生する場合の措置
- (F) 外部装置と接続された場合
 1. 警報器が鳴り始めてから各装置が作動するまでの時間
 2. 警報時の各装置の動作

■ 次の事項をお客様に説明の上、ご理解を得てください。

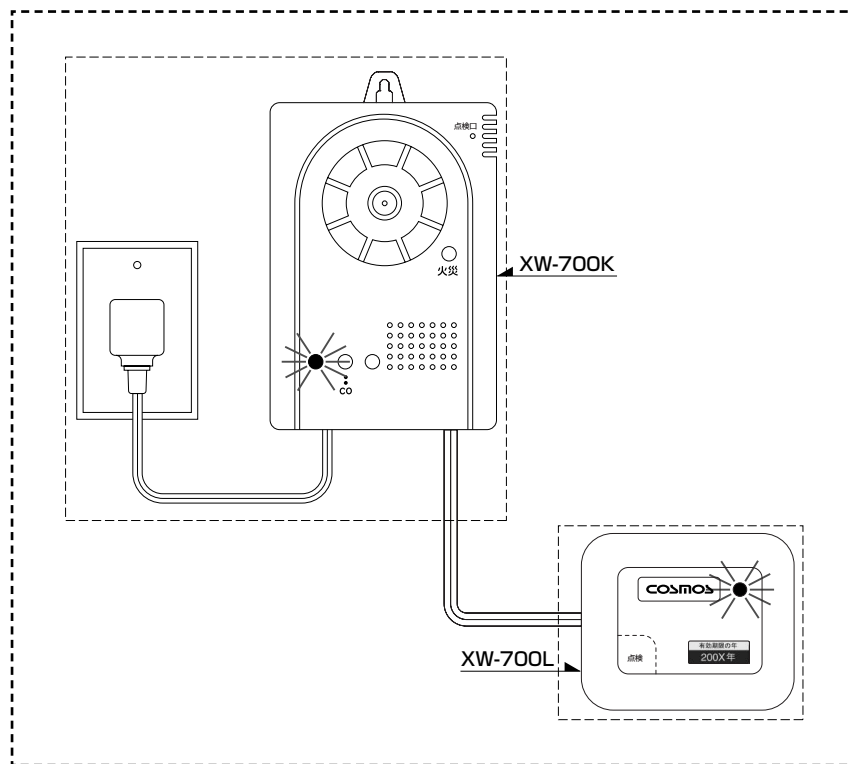
1. 保証期間 5 年
2. 警報器の有効期限（本体に表示）
3. 保証書を必ず読み、内容を理解した上で取り扱うこと
4. 警報器の移設禁止（移設依頼の連絡先）
5. 警報器の分解禁止
6. 引越し時の措置

補足説明

LPガス検知部(XW-700L)を接続されて、ご使用になれる場合

- LPガス検知部（XW-700L）を設置される場合は販売店にご連絡ください。
- LPガス検知部（XW-700L）の詳しい取扱い方法はLPガス検知部（XW-700L）に付属されている取扱説明書をお読みください。

複合型警報器 XW-700KL



LPガス検知部(XW-700L)を接続されて、ご使用になれる場合

安全上のご注意

警告

- 警報器の分解、改造は絶対に行わないでください。また落下するなどの衝撃を与える取扱いをしないでください。故障の原因となります。
- 警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。警報遅れの原因となります。

 分解禁止



 禁止

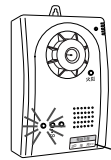


注意

- 日常、警報器 (XW-700K) の電源ランプ (緑) およびLPガス検知部 (XW-700L) の赤ランプが点灯していることを確認する

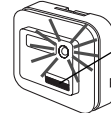
確認する

警報器 (XW-700K)



有効期限
表示ラベル

LPガス検知部
(XW-700L)



電源ランプ (緑) が消灯している場合は、以下の確認を行ってください。

- 電源プラグが確実に差し込まれているか。
 - 停電ではないか。
 - 電源ブレーカーが落ちていないか。
- 上記の原因以外で電源ランプ (緑) が消灯している場合は、警報器の故障が考えられますので、販売店にご相談ください。

- 警報器の有効期限を過ぎていないかを確認する

警報部および検知部本体に貼ってある有効期限の表示ラベルを確認してください。

有効期限は、お取付け後5年間です。

警報器を設置してから6年が経過すると電源ランプ (緑) がゆっくり点滅します。

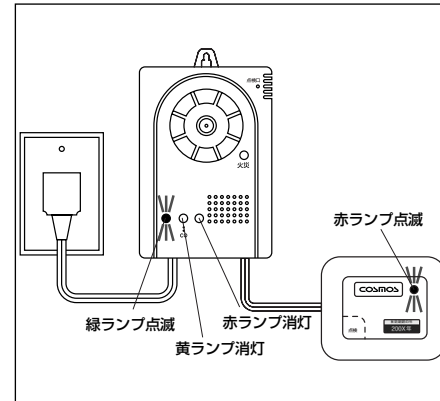
警報器の有効期限が過ぎていることをお知らせしています。販売店にご連絡ください。

電源ランプ (緑) が高速点滅している場合は、以下の確認を行ってください。

- 警報器 (XW-700K)、LPガス検知部 (XW-700L) のコネクタの抜けはないか確認ください。コネクタを再接続されると、警報器 (XW-700K) の電源ランプ (緑) とLPガス検知部 (XW-700L) の赤ランプは約2分間点滅します。
- 警報音確認ボタンを1秒間押し、「警報器を点検してください」が鳴る場合は、警報器の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。

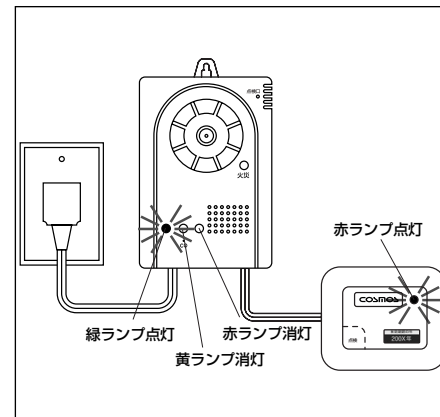
使用方法

- 1 警報器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。



警報器の動作

警報器の電源ランプ (緑) とLPガス検知部の赤ランプが点滅します。警報器が作動状態に入る準備タイムです。(火災警報は作動します。)



(電源に接続してから)

2 約2分後

警報器の動作

警報器の電源ランプ (緑) とLPガス検知部の赤ランプが点灯に変わり監視状態に入ります。(ガスもれ警報および不完全燃焼警報も作動します。)

※警報器 (XW-700K) の単体で使用される場合は、約30秒後に電源ランプ (緑) は点滅から点灯に変わり、監視状態に入ります。(⇒9ページ)

MEMO

MEMO

保証書

このたびは「XW-700K」をお取り付けいただき、誠にありがとうございます。お取付けた商品につきまして、本保証書記載の内容により保証させていただきます。

商品名 住宅用火災・液化石油ガス用不完全燃焼警報器 検知部
住宅用火災・液化石油ガス用ガス漏れ警報器(複合型) 警報部
型番 XW-700K型

1. お客さま名

おなまえ	さま
おところ	

2. 販売店(実施者)

店名		TEL	
住所			

3. 性能有効期間

警報器本体の性能有効期間は5年です。

[取付日 年 月]

性能有効期間後の性能保証および、点検・取り替えはできません。性能有効期間後はぜひ新しいものとお取り替えください。

(性能有効期間は、機器本体ラベルに記載しておりますので、ご確認ください。ラベルの有効期間表示は西暦の下2桁と月で記入されています。この有効期間までが保証期間になります。)

4. 保証の内容

取扱説明書による正常なご使用状態で、前記の性能有効期間中に故障した場合には、お申し出により無償にて取り替えさせていただきます。

お取付けの販売店へご連絡のうえ、本書をご提示ください。
なお無償で取り替えできない場合を次ページに記載しておりますのでご確認ください。

5. 保証の範囲

保証は機器本体を対象とします。機器本体以外に生じた損害は、本保証書に定められた保証の対象ではありません。

6. ご注意事項

- 警報器の火災および不完全燃焼の検知範囲・設置場所・位置等につきましては、取扱説明書をよくご覧ください。
特に警報器を設置した部屋以外での火災および不完全燃焼の検知、正しい設置方法によらない場合のガスもれの検知は不能ですので、ご注意ください。
- 当商品は万一の火災および不完全燃焼を検知し、警報音を発する商品です。

7. 保証の適用除外

つぎのような場合には、性能有効期間内でも警報器の点検・取り替えは有料になります。

- ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
- お取付け後の取り付け場所の移動、落下などによる故障および損傷。
- 火災、塩害、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入およびその他の天災、地震による故障および損傷。
- 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
- 音、振動、塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
- 取扱説明書等に指示する方法以外の工事設計または取付工事が原因で生じた不具合、故障および損傷。
- 機器に表示してあるガスの種類以外のガスでご使用になられた場合。
- 警報器に故障が認められない場合。
- 本書のご提示がない場合。
- 本書にお取付け年月、販売店の記入のない場合、あるいは販売店の訂正印なしで、字句を書きかえられた場合。

8. お客さまへ

- アフターサービスについてご不明の場合は、販売店へお問い合わせください。
- 本書にお取付け年月および販売店名の記載のないものについては無効となりますので購入時に必ずご確認ください。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

9. 保証者

発売元

--

製造元 新コスモス電機株式会社